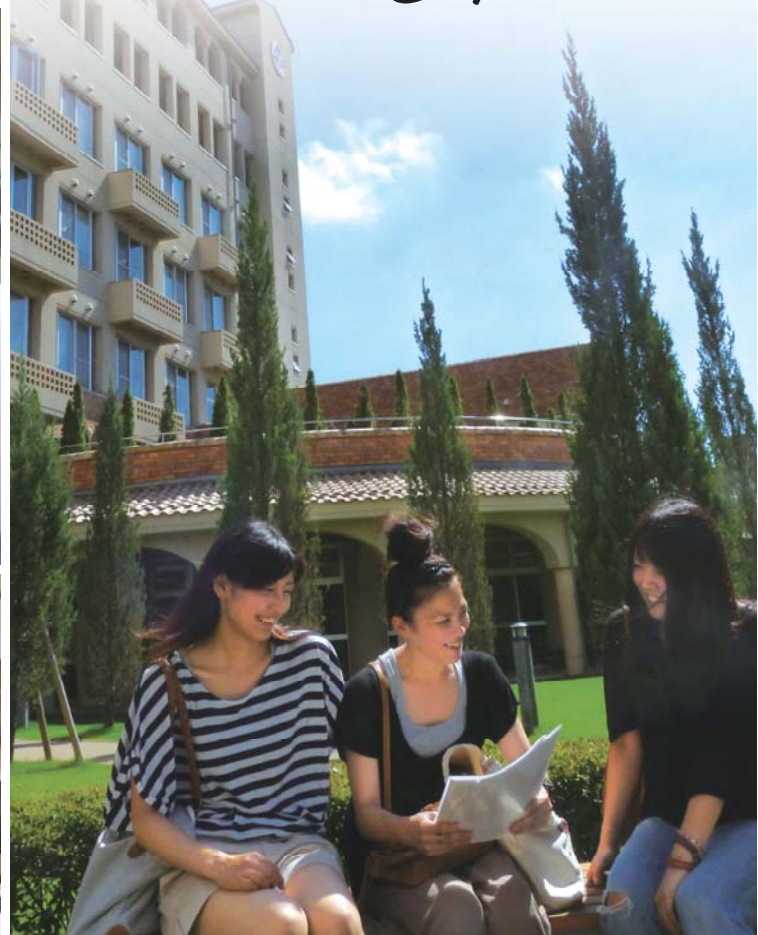


学報

SEIREI CHRISTOPHER UNIVERSITY REPORT

2011.7.20
Vol. 37



Contents

学長からのメッセージ P1
 【新設】臨床介護福祉学科／
 聖書のことば P2
 新生歓迎行事／奨学金制度 P3
 国際交流 P4
 就職支援 P5-6
 クリスマスニュース P7
 保健福祉実践開発研究センター P8
 私の教育・研究 P9
 新任教員の紹介 P10
 聖隷学園だより P11-12
 後援会から P13
 お知らせ P14
 ボランティア通信／学友会から 裏表紙



保健医療福祉の総合大学

聖隷クリストファー大学



聖隷クリストファー大学

学報 Vol. 37

2011年7月20日発行

発行者 聖隷クリストファー大学

看護学部/リハビリテーション学部/社会福祉学部/助産学専攻科

大学院 [博士前期課程] [博士後期課程] 看護学研究科/リハビリテーション科学研究科/社会福祉学研究科
 〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町3453 TEL053-439-1400 FAX053-439-1406 http://www.seirei.ac.jp

ボランティア通信

ボランティアサークル

「献血推進ボランティアサークル」

部長 尾崎 直人 (社会福祉学部3年次生)

私たちは1年に2〜3回行う「学生献血キャンペーン」のための企画・作業をしています。どうしたら沢山の方に献血をしてもらえるか、みんなでアイデアを出し合い検討をし、献血活動のサポートをしています。主にポケットティッシュの配布、プラカードを掲げての呼び掛け、学生の企画などで会場を盛り上げ気軽に献血をしていただけるような環境を作り、街中や店内を歩いている人たちに呼びかけを行っています。

献血サークルには硬いイメージがあるかもしれませんが、難しいことをしている訳ではありません。呼び掛けをするだけではなく、「どうすれば献血ができるの?」「献血したいけど不安がある」など、献血したい気持ちがある人へのサポートをして、献血をするというボランティアに参加することのお手伝いをするのも活動の1つです。

今後の活動では献血者数を増やしていくことと同時に、若年層への献血に対しての理解と協力を得て献血してもらうことも目標にしています。ニュースなどでは若年層の献血離れが、深刻な問題となっており、将来安定した血液の供給が難しくなるかもしれません。少しの勇気が患者さんを助け、いのちの輪が広がっていくことを知ってもらいたいです。その為に学生ボランティアが懸命に献血の重要性を伝えていきたいと思えます。この献血サークルに参加している人たちの繋がりも大切に、このサークルに入ってきたら良かったと思ってもらえるような活動を続けていきたいと考えています。



JR浜松駅前でのボランティア活動の様子。

浜松市「青少年の表彰」で善行賞を受賞

浜松市「青少年の表彰」は、地域に貢献する活動を続けている25歳未満の浜松市民・団体を対象とするもので、2011年3月、献血推進ボランティアサークルが善行賞を受賞しました。



写真右より部長の尾崎直人さん、副部長の山田一輝さん (ともに社会福祉学部3年次生)

2011年度 学友会関連行事

- 4月 6日[水] 新入生歓迎会
- 6月 8日[水] 学友会総会
- 9月 21日[水] 卒業式(記念品)
- 10月 29日[土] 球技大会
- 11月 5日[土] 聖灯祭
- 12月 21日[水] クリスマス祝会
- 3月 13日[火] 卒業式(記念品)・卒業パーティー(大学・学友会・同窓会共催)

2011年度学友会役員

[任期: 2012年3月31日まで]

	氏名	所属
会長	勝又 優太	看護2
副会長	清水 穂加	看護2
副会長	鈴木 聡太	社福2
副会長	望月 祥加	リハ2
会計	川口 公宏	リハ2
会計	賤機 絵莉	看護2
書記	岡田 佳織	リハ2
書庫	竹田 諒	社福2
クラブ	和田 野百合	リハ2
クラブ	大海 里枝子	リハ2
キャンパス	雨宮 純	看護2
キャンパス	柳川 佳保	社会2
広報	木下 由貴	リハ2
監査	鈴木 麻佑子	社福2
聖灯祭実行委員長	青木 駿	リハ2
聖灯祭実行委員長	内山 晴捺	看護2

※所属欄の「2」は学年、「看護」は看護学部、「社福」は社会福祉学部、「リハ」はリハビリテーション学部

私たちQOL委員会*は学友会の代表であり、学友会は聖隷クリストファー大学の学生全員で構成される自治組織です。

今年度の学友会は「学生自身が築き上げる」をテーマとしました。これには学生一人一人が自らの大学生活の質を向上させる意欲を持ち、それに伴って大学全体の雰囲気の良いものにしていくという意図を込めました。これを実現させるためには私たちQOL委員会が自覚と責任をもって活動に取り組みが必要があると考えています。私が特に力を入れようと考えているのは学友会主催の行事です。昨年度の反省を生かし、より

学友会

GAKUYUKAI

2011年度活動テーマ

学生自身が築き上げる

学友会会長 勝又 優太 (看護学部2年次生)



良いものにする事で学生一人一人が楽しめるものにできればと考えています。そしてそれがテーマの実現につながればと思っています。

聖隷クリストファー大学をより素晴らしい学校にするために、役員一同、全力で頑張りますので、ご協力をお願いします。

※QOL委員会・・・学友会執行部(1)学友会の基本方針・活動方針の作成及び遂行(2)予算案の作成及び決算(3)諸活動の企画・運営(4)本会に属する委員の選出、各機関の活動統括(5)その他総会の決議に基づき必要とされる事項の審議を行う。QOL=Quality of Life

謹んで震災のお見舞いを申し上げます。

このたびの東日本大震災により被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。
一日も早い復興と皆さまのご健康を心から願っております。

— 聖隷クリストファー大学教職員一同 —

学長からのメッセージ

新年度を迎えて

聖隷クリストファー大学は、本年4月より、学部教育は3学部7学科で、また大学院教育は3研究科博士前期課程・後期課程として、それぞれの学問分野・領域の専門性を前面に打ち出して、新たな出発をしています。

大学改革の嵐が、国の少子化、財政難等で国立大学を中心に吹き荒れ、それが私立大学にも及び、本学もここ数年の間に、大学が大学として生き延びていくために、様々な観点からの改革に迫られました。本学は幸い、教職員が一丸となり、また保護者の皆様や、近隣施設等の多くの方々のご支援、ご協力を得て、建学の精神を大切に、時代に即応した改革を進めることができ、感謝するとともに、更なる進展に向けて努力を続けています。

様々な改革が本格化する本年は、東日本大震災とともに忘れられない年になりそうです。3月には2008年に開設された博士後期課程より、本学初の、そして静岡県でも初めての博士号を持った保健医療福祉の専門職者を社会に送り出しました。この晴れの式典に大震災の影響で出席できなかった修了生の事が、被災された方々の無念、悲しみ等とともに心に焼きついています。

4月から本学は、社会福祉学部臨床介護福祉学科を新設して、社会福祉学科とともに教育福祉学科の3学科体制とし、また、リハビリテーション学部はこれまでの理学療法・作業療法・言語聴覚学の3専攻を3学科体制として、看護学部看護学科を含む3学部7学科でスタートしています。学科制にする事で、近



聖隷クリストファー大学 学長
小島 操子
こじま みさこ
言語聴覚学の3専攻を3学科体制として、看護学部看護学科を含む3学部7学科でスタートしています。学科制にする事で、近

接する学問領域がそれぞれ独立して、また互いに協力して、切磋琢磨し、発展する事が期待されています。一方、看護学部では保健師助産師看護師法の一部改正に伴って、カリキュラムの大幅な改革が進んでいます。また、大学院では、保健科学研究科博士後期課程を改編して、看護学、リハビリテーション科学、社会福祉学それぞれの学問分野の専門性を前面に打ち出し、それぞれの博士前期課程・後期課程として新たな出発をしました。こうすることで、教育・研究の一貫性を強化し、それぞれの専門性をより深く、広く究め、各学問分野の教育・研究・実践の発展に寄与するとともに、専門職間の連携・協働の重要性を実践に活かす事が期待されています。さらに、本年4月には、大学附属クリストファーこども園が開設されました。0歳から5歳までのこども園が開設されました。0歳から5歳までのこども園の充実が期待されています。また、社会福祉学部こども教育福祉学科を中心とする大学全体の教育の充実が期待されています。

今年度の力点は、学部も大学院も、新しくスタートした体制での利点を活かして、教育・研究、管理・運営を軌道に乗せ、充実させて、教育・研究の質を高め保証していくこと、また、クリストファーこども園を大学附属施設として充実させ、学生達の園児達との学びを双方にどう実り多いものにするか、また、来年3月、本学初の卒業生となるこども教育福祉学科の第1期生が、自信と誇りを持って、夢をふくらませて果立っていくようにすること等です。これらを中心に、教職員が一丸となつて、保護者の皆様をはじめ、関係各位のご支援・ご協力をいただきながら、学生達とともに、ベストを尽くして参りたいと願っています。

新設 臨床介護福祉学科

社会福祉学部

21世紀を担う介護のスペシャリストを養成

今年度新設をした臨床介護福祉学科では、介護福祉士や社会福祉士となるための学びを土台に、介護職管理者養成コース、介護系教員養成コース、そして病院専門介護福祉士養成コースいずれかを選択し、学びを深めていきます。

日頃より保護者の皆様をはじめ多くの方のご協力をいただき、心より感謝申し上げます。お陰様で、今年4月念願でありました臨床介護福祉学科が誕生し、多くの新入生を迎えることができました。

本学の臨床介護福祉学科では、介護福祉士養成教育は大学1・2年次で修了し、3・4年次で、介護職管理者の養成、介護福祉士を養成する学校や大学の教員の養成、さらに病院等医療機関で看護職と連携できる病院専門介護福祉士の養成という3つのキャリアパスを用意しました。

介護系教員養成の教育カリキュラムをはじめ管理者養成・病院専門介護福祉士養成の教育カリキュラムは、それぞれ国のレベルで提示された内容や養成施設協会等で検討された内容を踏まえたものです。その上、これらの学習を通して、社会福祉士の受験資格も同時に取得できます。

さらにこれら資格に加え、病院専門介護福祉士養成カリキュラムの一部を学ぶことにより、医療ソーシャルワーカーの道も開けます。まさに地域社会が必要とされる人材です。単に介護福祉士の国家資格取得だけでなく、その後の人生を「地域のリーダー」として役に立つ人材育成を、本学臨床介護福祉学科は目指しています。

世界に類をみない高齢化に見舞われる日本社会を「幸せな国」に導く担い手を育てることが本学臨床介護福祉学科の願いです。ヘルパー教育の発祥の地である聖隷から、また新しい福祉人材が誕生することになりまし。我々教員一同初心を忘れず新設「臨床介護福祉学科」を一生懸命育てて参りたいと念じています。

カリキュラム

2年次までに介護福祉士養成カリキュラムの学習を修了し、3・4年次に3つの専門コースのいずれかを希望し習得することができます。

介護職管理者養成コース

- ・環境や人材のマネジメントを重点的に学びます。
- ・そのためにICT(情報通信技術)を有効活用します。



福祉職リーダー

介護系教員養成コース

- ・介護系教員となるための指定科目を学びます。
- ・地域福祉や学生指導法を学びます。



病院専門介護福祉士養成コース

- ・病院介護に必要な専門科目を学びます。
- ・病院で暮らす患者さんや家族への支援について学びます。



臨床介護福祉学科長
中村 裕子
なかむら ひろこ



シリーズ 聖書の言葉

「旅には何も持って行つてはならない。杖も袋もパンもお金も持っていない。下着も二枚は持っていない。」

(ルカによる福音書九・三)

有名な逸話ですが、長谷川保先生が奥様に初めてクリスマスプレゼントを贈ったことがありました。奥様の八重子さんは「保さん、私たちは生涯無所有、二枚の下着を持つな、帯の中に金銀または銭を持つな」と約束したわね。」と言って受け取らなかった、と言われていました。それだけのお金があれば、もう一人の患者さんを一月月支えることが出来るからでした。

イエスさまは弟子たちを伝道旅行に送り出す時に冒頭の聖句を彼らに話されました。ものをたくさん持つと人の心は乱れます。何もないと心が目的に集中します。貧しさは人を強くします。イエスさまはこうも言われました。

「あなたがたは地上に富を積んではならない。何を食べ、何を飲み、何を着ようかと思ひ悩むな。」

聖隷学園宗教主任 鈴木 崇巨

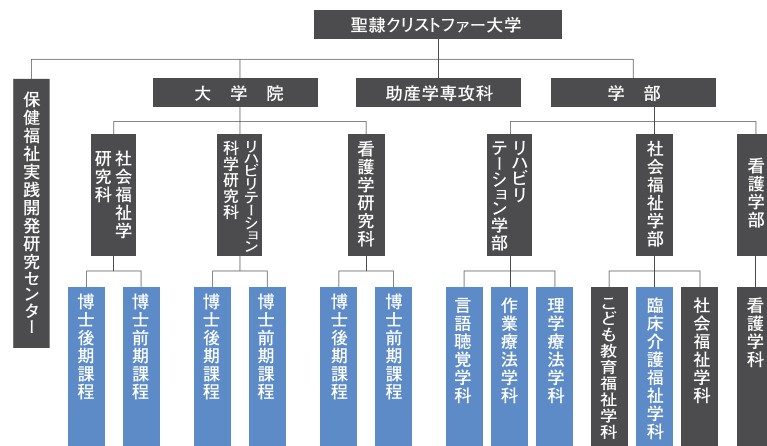


長谷川保先生が愛用した聖書には、余白を埋め尽くす書き込みがある。

本学の学びの構成

社会福祉学部は、社会福祉学科、臨床介護福祉学科、こども教育福祉学科の3学科体制とし、リハビリテーション学部は理学療法、作業療法、言語聴覚学の3専攻を3学科体制として新たにスタートしました。

大学院は看護学研究科、リハビリテーション科学研究科、社会福祉学研究科それぞれに博士前期(修士)課程、博士後期課程を置いています。



国際交流担当教員からのメッセージ



柏谷恵美子助教 成松美枝准教授 山下香枝子教授

看護学部

毎年アメリカ、シンガポールで看護研修、国際実習等を実施しているほか、オーストラリア、中国での研修機会もあります。海外での保健医療施設見学、実習、学生との交流やホームステイなどを通じて、その国独自の社会、文化、歴史や考え方、生活習慣等を体験できます。学生時代のみならず、人生において貴重な財産となるに違いありません。ぜひ参加して保健医療について国際的な視点で捉えることのできるスペシャリストを目指してほしいと思います。



アダム・ボルドニヤック准教授、坪川紅美助教

社会福祉学部

学部開設時よりカリキュラムに「国際福祉実習」を選択科目として置き、これまで52名の学生がインドとブラジルの聖隷グループである知的障害者施設・重症心身障害者施設、および韓国の高齢者施設、児童養護施設において実習を行っています。実習の目的は、実習国の社会福祉事情や文化を体験する事により、価値観の多様性や異文化を受容する力を育み、国際的視野を持った人材を育成する事です。今後、新たな国での実習についても検討しており、より多くの学生が海外で社会福祉について学ぶ事ができるよう実習環境の充実に努めています。



藤原百合教授 前野竜太郎准教授 小田原悦子教授

リハビリテーション学部

海外の同じ専門職を目指す学生や専門職との交流経験を通して、国際的視野を広げられるよう支援しています。1週間のシンガポール研修には、病院、施設の見学、ナンヤン理工学院での講義や学生交流が含まれます。3週間の国際作業療法実習は、シンガポールの作業療法士のもとで学び、対象者の訓練やリハビリテーションに参加する機会もある見学実習です。ナンヤン理工学院の学生が本学を訪れた時は、学生が主催する歓迎会で迎え、目指す専門職や学生生活についての意見交換なども行います。



シンガポールの学生との浜松市内観光

本学は教育目標の一つに、保健医療福祉の専門職として国際的な視点を持ち国際社会に貢献できる人材の養成を掲げており、世界に目を向ける機会の一つとして、海外研修や海外実習を行っています。大学主催で行うグループ単位の研修としては、看護やリハビリテーションの専門的な見学・研修を行うもの、異文化体験と海外の保健医療福祉の状況を理解するもの、英語によるコミュニケーション力強化を目的とするものなど内容に特徴を持たせ、学生が明確な目標・目的を持って参加できるよう配慮しています。また、異文化社会の中で外国人指導者のもと専門分野の実践に触れる実習は、その国だけでなく本学で学んでいる専門分野についても客観的に捉える機会となります。その他、学内で学生達が国際社会について考える機会として、海外から研究者や学生が本学を訪れる際は、特別講演、意見交換会、交流会等を行っています。

特に、本学交流協定締結校である中国の第三軍医大学およびシンガポールのナンヤン理工学院とは、学生間の交流、共同研究などの学術交流、相互の教職員短期研修、教育方法についての情報交換など積極的な交流活動を展開しています。



アメリカ看護研修



シンガポール研修

新入生セミナーを振り返って ~担当教員より~



しっぽとりでは取られるものかともみんな必死

看護学部

毎年、看護学部の新入生セミナーは上級生が中心となって企画・運営が行われます。今年度のプログラムは「キャンパスツアー(校内見学)」や「上級生からのメッセージ」、浜北総合体育館での「運動会」でした。2日間を通じて不安そうだった新入生たちの表情はずいぶんやわらかく変化したように感じました。そして新入生セミナーが終了すると4年から3年生中心とした各学年の担当者にたすきがわたされ、来年の新入生を迎える準備がはじまります。



大盛り上がりでの借り物競走(雄踏総合体育館にて)

社会福祉学部

今年は例年になく寒い春で、東日本大震災の後ということもあり、自粛ムードのなか、しどやかに心温かく始まり、最後は先輩たちの力強い支えを実感したセミナーとなりました。セミナーの目的は「学生間・教員との交流を通して学生生活に適應するための準備」で、繰り広げられるレクリエーションの数々は先輩たちにより、新入生にとっても配慮されたものでした。こうした「おもてなしの心」を新入生も忘れずに次につなげてほしいと参加した教員として思いました。ご苦労様でした。そしてありがとう。



理学療法学科によるお笑いの演出

リハビリテーション学部

リハビリテーション学部の新入生セミナーは、午前は学科別に、午後は全学科合同で実施しました。午前中、理学療法学科はバレーボール大会、作業療法学科はグループ対抗の年齢当てクイズや学内探検、言語聴覚学科は臨床で使用する器具の使用方法を当てるクイズやジェスチャーゲームなどで学科内の交流を深めました。午後は、上級生によるお笑い(理学療法学科)、ダンス(作業療法学科)、川柳クイズ(言語聴覚学科)など、教員も多数参加し、賑やかな雰囲気の中、行われました。

Christopher NEWS!

4月

新入生歓迎行事



4日 2011年度入学式 (アクトシティ浜松中ホールにて)

本年度の入学生は3学部、助産学専攻科、大学院の3研究科合わせて411名です。入学生を代表し、社会福祉学部社会福祉学科の安島詩織さんが力強く誓いの言葉を述べました。

5→7日 新入生オリエンテーション・新入生セミナー

新入生セミナーでは、学生同士や教員との交流を通じ、新入生が大学生活に円滑に適應できるようにと企画された様々なプログラムを催しました。上級生が中心となって準備・企画をし、スポーツや座談会を通してたくさんの笑顔が見られました。

2011年度学生の海外研修・国際実習予定

研修・実習名	研修・実習地	対象	時期・期間	内容
シンガポール研修*	シンガポール	全学部 全学年	9月3日~10日 [8日間]	保健医療福祉施設見学、学生交流
リハビリテーション科学研究科国際交流能力開発プロジェクト	シンガポール	リハビリテーション科学研究科 博士前期・後期課程	9月3日~10日 [8日間]	保健医療福祉施設見学、研究者交流
オーストラリア語学研修	オーストラリア ビクトリア州	全学部 全学年	3月上旬 [3週間]	英語研修
アメリカ看護研修	米国 カリフォルニア州	看護学部 2~3年次生	3月17日~19日 [13日間]	保健医療福祉施設見学、ナースシャドーイング
個人参加型の語学研修	英語圏の国	全学部 全学年	通年 [1~5週間]	英語研修
国際福祉実習	インド/ブラジル/韓国	社会福祉学部 2~4年次生	夏期/春期休暇中 [2~4週間]	聖隷関連福祉施設等での体験実習、文化施設訪問等
国際看護実習*	シンガポール	看護学部 4年次生	9月 [2週間]	ナースシャドーイング(病院、訪問看護等)
国際作業療法実習*	シンガポール	リハビリテーション学部 作業療法学科 2~3年次生	3月 [3週間]	作業療法プログラム参加、医療福祉施設訪問等

★日本学生支援機構[平成23年度留学生交流支援制度]採択プログラム。参加者に奨学金(1人当たり8万円)が支給されます。

*下記のサイトで本学国際交流に関する情報を随時紹介しています。

<http://blg.seirei.ac.jp/intl/top.html>

主な奨学金と2011年度新規貸与人数

本学の学生は、①本学独自の奨学金 ②聖隷グループの奨学金 ③看護師・保健師・助産師・介護福祉士・理学療法士・作業療法士等の国家資格に関する奨学金 ④日本学生支援機構第一種・第二種奨学金のような一般奨学金を利用できます。毎年4月に奨学金の説明会を開催し、申込を受け付け、5~7月にかけて随時採用が決定します。詳細は、大学ホームページまたはキャンパスライフ(学生生活の手引き)44ページをご覧ください。

大学ホームページ

学生生活奨学金

http://www.seirei.ac.jp/examinee_scholarship/

名称	区別	対象	金額	条件	2011年度新規貸与人数
菅野・太田・長谷川奨学金	貸与	看護社福リハ助産	月額64,000円(看護・リハ・助産) 月額54,000円(社福)	将来国内外を問わず、広く保健医療及び社会福祉の分野において社会に貢献する志を有する者	看護2年 1名 社福1年 1名 リハ1年 2名
大学同窓会・後援会奨学金	貸与	看護社福リハ	月額40,000円	卒業後、保健医療福祉の専門職として社会に貢献する志を有する優れた学生のうち、経済的理由により3年次及び4年次生において学業に専念することが困難な者	看護3年 3名
M.H.奨学金	給付	看護	年額500,000円	国内外を問わず看護師、保健師または助産師として社会に貢献する志を有し、学業成績、人物共に優秀な者(3年次生・4年次生)	看護3年 1名 看護4年 1名
聖隷奨学金一般奨学金	貸与	看護社福リハ助産	月額30,000円(2011年度から看護学部と助産学専攻科は、月額50,000円を選択できるようにしました。)	卒業後、聖隷奨学金会員施設(注1)のいずれかに勤務することを希望する者 (注1) 聖隷浜松病院、聖隷三方原病院、聖隷横浜病院、聖隷済済病院、聖隷佐倉市民病院、聖隷沼津病院、聖隷富士病院、浜松市リハビリテーション病院、聖隷福祉事業団法人本部	看護1年 37名 看護2年 4名 看護3年 9名 看護4年 14名 助産 6名 社福1年 1名 リハ1年 4名 リハ2年 1名
聖隷奨学金貸付金	貸与	看護社福リハ助産	授業料の範囲以内	経済的援助を必要とする者	
ニッセイ聖隷健康福祉財団奨学金	給付	社福リハ	月額20,000円	介護福祉士、理学療法士、作業療法士として、卒業後、高齢者福祉施設に勤務を希望する者	
静岡県看護協会奨学金	貸与	看護助産	月額20,000円 貸与期間は1年間	卒業後、静岡県内において看護職員として従事しようとする者(保健師・助産師・看護師)	看護1年 1名
静岡県介護福祉士修学資金	貸与	社福	月額50,000円(注2)	卒業後、静岡県内の社会福祉施設等で介護等の業務に従事しようとする者 (注2) 入学準備金20万円、卒業時に就職準備金20万円も貸与	社福1年 2名 社福4年 1名

※「看護」は看護学部、「社福」は社会福祉学部、「リハ」はリハビリテーション学部、「助産」は助産学専攻科

就職先の方より在学生へのメッセージ

クリストファー卒業生とともに働いて



社会福祉法人
農協共済
中伊豆リハビリテーション
センター
リハビリテーション部
言語聴覚療法科長
長畑 則子 様
ながはた のりこ

当センターは110床を有する回復期リハビリテーション病院です。ST(言語聴覚士)8名のうち3名が聖隷クリストファー大学の卒業生です。センターではSTとしての臨床だけでなく、他職種との連携や勉強会・研究活動も盛んで入職当初は戸惑うことも多かったと思います。日々多忙な中でもいきいきと仕事をする3人を見て貴学の卒業生の共通点を考えてみました。第一に仕事に対する真面目さ、次に患者様の立場に立って考えようとする姿勢、最後に自分を高めようとする気持ちがあること。どれも一朝一夕に身につくものではなく、先生方始めいろいろな方の指導を受け、学校や家庭での生活を一日一日大切に過ごしてきた結果なのだと思います。皆さんも是非素敵な先輩方の後に続けるよう頑張ってください。

聖隷クリストファー大学卒業生への期待



社会福祉法人
天竜厚生会
総務部長
藤井 祐三 様
ふじい ゆうぞう

現在当法人には、聖隷クリストファー大学の卒業生39名が在籍し、相談職や介護職として、大学で得た知識や技術を十二分に発揮しつつ、それぞれの職場で活躍しています。また、少数ですが事務職に従事している人もいます。事務職は大学での専攻とは異なる分野ですが、会計処理、文書管理の経験は、今後幅広い対人福祉サービスに携わる上で、貴重な蓄えとなると考えます。全員が20代と未だ若く、今後を期待する人材ですが、地元の大学を卒業したという利点を活かし、多くの友人・知人、住み慣れた環境の中で、仕事は勿論、生活も謳歌しつつ、地域人として、地域の中で活躍できる人材としての成長も大いに期待するところです。

聖隷三方原病院と聖隷クリストファー大学のつながり



社会福祉法人
聖隷福祉事業団
総合病院 聖隷三方原病院
総看護部長
吉村 浩美 様
よしむら ひろみ

聖隷三方原病院は日本初のホスピスやドクターヘリなど急性期から終末期までの特徴ある医療を展開しています。従来から当院の隣人は障がい者や社会的な弱者であり、看護の知識と技をもって一人ひとりの利用者との真摯に向かいあっています。利用者の目線に立ち温かく優しい看護であると地域の信頼を集めています。その意味では聖隷クリストファー大学の卒業生が半数程度を占めるため、聖隷三方原病院の看護の基盤は卒業生たちが創りあげて来たといえるでしょう。



地域で活躍する専門職の講演会では、専門職として求められる資質や日々の業務内容についてお話をいただいています。

就職支援

2010年度就職状況と就職支援

本学は、保健医療福祉施設(主に静岡県、愛知県東部)との連携強化を図り、卒業生とのつながりを育て、大学を拠点としたネットワークを築くことにより、学生の希望する就職が確実に実現するよう就職支援を行っています。また、キャリア形成を支援し、就職支援の充実を図り、学生が保健医療福祉専門職として働く自分の将来のイメージ作りと就職に対する意識を向上させることをめざしています。

2011年3月に本学を卒業・修了した学生は324名、そのうち就職を希望した300名全員が就職し、就職率は100%に達しています。なお進学者数は15名でした。100%の就職率を維持できるのは、就職活動における学生個々の努力はもちろんのことですが、卒業生(先輩)の働きがそれぞれの職場で高く評価されており、そのことが本学の学生に対する期待として現われているからだと言えます。

就職支援の一つとして「地域で活躍する専門職の講演会」や「卒業生と在学生との懇談会」等を行っています。また、1・2年次生には専門職としてのキャリア形成を意識することを目的として「先輩の声」を、3・4年次生には具体的に

2010年度就職状況	卒業(修了)者数	就職希望者数	就職者数	就職率(%)	就職者以外(名)	
					進学	その他
看護学部	154	136	136	100	14	4
助産学専攻科	17	17	17	100	0	0
社会福祉学部 社会福祉専攻	52	50	50	100	0	2
社会福祉学部 介護福祉専攻	22	21	21	100	0	1
リハビリテーション学部 理学療法専攻	32	31	31	100	1	0
リハビリテーション学部 作業療法専攻	25	25	25	100	0	0
リハビリテーション学部 言語聴覚専攻	22	20	20	100	0	2



的に就職活動を進めていく上で必要となる項目をまとめた「就職ガイドブック」を配布しています。

MESSAGE TO STUDENT

OG・OBの方より在学生へのメッセージ



JA静岡厚生連
遠州病院
作業療法士
鴨藤 祐輔 さん
かもとう ゆうすけ
リハビリテーション学部
(作業療法専攻)
2007年度卒業

私は現在身体障害領域の回復期病棟に所属しており、主に脳血管障害や下肢骨折等の患者様を担当させて頂いています。日々、先輩方からアドバイスを頂きながら充実した毎日を過ごしています。卒業してから4年目を迎えていますが、現在の臨床においても、在学中に先生方から頂いたアドバイスや、多職種からの患者様を考える視点を学べる大学の環境は、現在の自分の強みとなっているように感じます。また、大学在学中のことを改めて考えると、専門的な視点を以て、患者様と向き合いながら役に立つ専門職を目指すことができる環境だったと思えました。在学中の皆さんも「焦らず、腐らさず、諦めず」、素晴らしい専門職者になれることを願います。



社会福祉法人 慶成会
デイサービスセンター野の花
生活相談員
山口 雅子 さん
やまぐち まさこ
社会福祉学部
(介護福祉専攻)
2006年度卒業

周りに多様な施設があることを活かし、実習やボランティア等、気軽にいろいろな方との触れ合いができます。また先生方が親身に相談にのってくれ、専門知識を得ることができたので、今現場で「なぜ、どうして」と考えることができます。学生時代からの友人と就職してから悩みの相談等することができています。

卒業生と在学生との懇談会では、卒業生から就職活動の様々なことについてお話やアドバイスをいただいています。



浜松医療センター
看護師
西垣 梢子 さん
にしがき しょうこ
看護学部2007年度卒業

私は現在、助産師として毎日たくさんの赤ちゃんに囲まれながら楽しく働いています。今振り返ると、4年間の大学生活はあっという間でしたが、その短い間にも聖隷で学んだ知識や技術、精神の一つ一つは、自然と身に付き、すべて今につながっていると感じています。様々な興味あるカリキュラムや充実した設備は、大学生活をよりよいものへと導いてくれました。今でも、もう一度大学に戻りたい!もってやっっておけばよかった!と思うことがあります。勉強や実習、大変なことたくさんあると思いますが、本当に恵まれた中での大学生活です。1日1日を大切に、悔いのないよう楽しく聖隷での4年間を送ってください。

こども教育福祉学科1期生の就職支援

2010年度	4月	進路ガイダンス、個別相談①	10月 就職講演会
	6月	就職対策講座「自己分析について」	
	7月	進路ガイダンス「ボランティアについて」	
	9月	進路ガイダンス	
	10月	幼稚園長、保育園長による就職講演会 専門試験、実技演習対策講座①②、個別相談②	
	11月	専門職者による就職試験対策 専門試験、実技演習対策講座③	1月 スキルアップ講座 (ビジネスマナー)
	12月	幼稚園・保育園筆記試験対策 専門試験、実技演習対策講座④⑤	
	1月	スキルアップ講座(ビジネスマナー) 専門試験、実技演習対策講座⑥	2月 職業についての講話
	2月	幼稚園教諭、保育士による職業についての講話	
	4月	進路ガイダンス、個別相談③	
	5月	学内就職相談会(幼稚園、保育園、児童養護施設、社会福祉施設等)	
	7月	浜松市私立幼稚園振興協会採用審査筆記試験対策 筆記試験直前対策講座①(一般常識)	
	8月	筆記試験直前対策講座②③(一般常識) 筆記試験直前対策講座④⑤(就職専門)	
	9月	進路ガイダンス	5月 学内就職相談会(個別相談)

※上記の他、他学部との共通支援行事として、SPI模擬試験、論作文講座、キャリアデザイン講座を実施しました。また、相談、履歴書添削等は随時行っています。

こども教育福祉学科 1期生の就職支援

社会福祉学部こども教育福祉学科の1期生は2012年3月に卒業です。就職支援行事は昨年の秋 semester (2010年10月) から本格的に始め、今年度の就職活動にむけて準備を進めてきました。

東日本大震災を受けての 本学および聖隷学園の 支援活動について

このたびの東日本大震災は観測史上未曾有の大地震となり、東北・関東各県に広範囲の甚大な被害に及ぶことが予想され、被災者への支援を要する状況が深刻化しています。本学においてもできる限りの支援をしたいと考えております。

震災以降、これまでに行ってきた本学および聖隷学園の支援活動について報告します。

被災地へのボランティア活動

●しずおか学生ボランティアいわて応援隊

社会福祉学部社会福祉学科の4年次生を中心とする5名の学生が5月2日から9日(8日間)にかけて、静岡県社会福祉協議会が主催した「しずおか学生ボランティアいわて応援隊」としてボランティア活動を行いました。若手県下閉伊郡山田町の災害ボランティアセンターにおいて、瓦礫の撤去作業、側溝の清掃、家屋内の清掃、イベントの補助などを行いました。

●本学教員のボランティア派遣活動

授が日本語聴覚士協会を通して生活機能対応専門職チームの派遣者として宮城県仙台市若林区地区にて4月2日から10日の9日間にかけて被災地の避難所を中心に、廃用症候群の予防や摂食・嚥下障害、またコミュニケーション障害への対応のシステムを構築するための支援を行いました。リハビリテーション学部作業療法学科の鈴木達也助教は5月1日から7日の7日間にかけて、若手県釜石市・大槌町地区にて現地の作業療法士や保健師などの職種と連携しながら、リハビリを必要とする被災者のサポートの他、避難所周辺の環境整備などを行いました。

募金活動

●聖隷学園より

法人事務局・大学・中・高等学校に募金箱を設置し、震災後よりこれまでに協力いただいた義援金700,368円は、本学園と関わりが深いアジア学院(栃木県那須塩原市)へ、また日本私立中学高等学校連合会を通して東北・関東地方の被災した私立中学・高等学校へ、そして日本看護系大学協議会を通じて被災した学生・教員を抱えた大学への支援、被災地住民への支援活動を行う教員や学生への支援のためにそれぞれ送金しました。

●学生より

本学の献金推進ボランティアサークルが、学内で募金活動を行い、375,892円(募金者123名)を4月11日と13日に日本赤十字社東北関東大震災義援金に寄付しました。

●チャリティーコンサート

7月2日(土)・プラスバンドサークルが遠州栄光教会三方原礼拝堂にて七夕演奏会「東日本大震災チャリティーコンサート」を行いました。当日集まった義援金は、教会を通じて被災地へ送金しました。

ご協力いただきました皆さまに心より感謝申し上げます。



避難所にて、座ったままでも行える運動を指導(鈴木助教:写真右)

震災ボランティア報告会

7月11日、上記の活動に参加した学生・教員と被災地にてボランティア活動をした卒業生の方が、本学学生・教職員を対象に活動報告を行いました。

聖隷クリストファー大学同窓会 第36回総会記念講演会

脳科学者 茂木健一郎氏を お迎えしました

6月4日(土)、聖隷クリストファー大学同窓会主催・本学共催により、聖隷クリストファー大学同窓会第36回総会記念講演会「脳を磨く生活術」プロフASHIONナル達の現場から」をアクトシティ浜松中ホールにて開催しました。

講師にはテレビ・雑誌等のメディアで活躍されている脳科学者の茂木健一郎氏をお迎えしました。講演には本学卒業生を中心に、地域の保健医療福祉の専門職の方々一般市民の方976名が参加しました。参加者からは「人のため社会のために自分は何ができるのかを考え実践することが生きているエネルギーを生み出す、ということ学んだ。」「脳の神経細胞(自分の行為と他人の行為を鏡に映したように表現する、「ミラーニューロン」)の話から、他人の姿を通して、自分の本性や人との違いを知ること学んだ。仕事や家庭、人付き合いにおいて役に立つ話を聞くことが出来た。」など、講演を通して前向きに生きるヒントを得ることができたという声が多く聞かれました。



さらなる学習環境の 充実をめざして

新5号館建設に向けて 工事が始まります

本学は、第一体育館を解体し、跡地に新5号館を新築します。新5号館は大学及び大学院における学習・研究・教育環境のさらなる充実を目指し、2・3階に図書館を増床・移設し、館内には新しい学習環境「ラーニングコモンズ」を設置します。2階には学生ラウンジを設置します。4・5階には学部・大学院共用の教室を増設し、6階には大学院研究スペースを移設する計画で、完成は2012年11月末を予定しています。

建築規模は鉄筋コンクリート造7階建(免震構造)、延床面積5,100㎡で、3号館とは同じ面積です。なお、解体工事は9月から、新築工事は12月から開始する予定です。工事の安全、騒音、交通安全等については細心の注意を払い、慎重に作業を進めてまいります。期間中は学内外にご不便にご迷惑をお掛け致しますが、ご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。

新5号館イメージ

- 7階建(延床面積5,000㎡)
- 1階:聖隷歴史資料館
- 2・3階:図書館
- 4~6階:教室・施設等
- 7階:研究室



2011年度

保健福祉実践開発研究センター

公開講座のご案内

主に専門職者向けの講座を「公開セミナー」、
一般の方向けの講座を「市民公開講座」として開催いたします。
インターネットまたはFAXでお申し込みください。
多くの皆様方のご参加をお待ちしております。

詳細は大学ホームページに順次掲載いたします。

公開セミナー ①リーダーシップに関する講座(報告)

7月2日(土)にリーダーシップに関する公開セミナー「リーダーの使命と求められるリーダーシップ」を開催しました。講師には、NPO法人オールしずおかベストコミュニティ理事長・法政大学大学院静岡サテライトキャンパス長・教授の坂本光司先生をお迎えし、リーダーシップについての講演をいただきました。174名が参加し、看護師、保健師、社会福祉士、介護職員等保健医療福祉の専門職者が6割、その他会社員の方など一般からの参加が4割でした。参加者からは「管理することとリードすることの違いが印象に残った」「自分を見つめ直すよい機会になった」等、今後の仕事に活かせるという前向きな感想を多くいただきました。

公開セミナー ②IPW(専門職連携)に関する講座

日時	2011年10月8日(土)13:30~16:30
テーマ	講義「災害時の専門職連携~被災に向けて~」 演習「インタープロフェッショナルになる (Becoming Interprofessional)」
講師	田村 由美氏 (滋慶医療科学大学院大学医療管理学研究科 教授) キエルト・ドウィツ氏(ジャーナリスト)
対象	保健医療福祉の専門職者 他
定員	100名
場所	聖隷クリストファー大学

参加申込みに関する問い合わせ先

聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター

- インターネット
大学ホームページ→公開講座 URL http://www.seirei.ac.jp/
画面の案内に従って必要情報を入力後、送信してください。
- FAX 053-439-1406
氏名(フリガナ)・住所・電話番号・FAX番号・職業(勤務先)・申込講座名
をお知らせください。FAX用紙は大学ホームページからダウンロードできます。
※申込開始は講座開催日の約1ヵ月前からとなります。

お知らせ

2010年度に地域貢献研究事業費の採択を受けて実施された研究事業11件のポスター発表を行います。
日時:2011年11月5日(土)10時~17時(見学自由)
場所:聖隷クリストファー大学 聖灯祭・ホームカミングデーと同日開催
※詳細はホームページ等でご案内いたします。

市民公開講座 ①認知症・介護予防に関する講座

日時	第1回 2011年11月19日(土) 第2回 2011年12月 3日(土) 講演と事例検討 13:00~15:30
テーマ	「認知症介護の最前線」(全2回)
講師	中村 裕子 教授 (本学社会福祉学部臨床介護福祉学科長・教授)
対象	家庭で介護に関わる一般の方々 認知症・介護予防に関わる専門職者
定員	100名
場所	聖隷クリストファー大学

市民公開講座 ②子ども・子育て支援に関する講座

日時	2011年12月24日(土)13:00~16:30 ※時間予定
テーマ	「子どもへのまなざし-障がいのある子もいない子も みんなで育ち合う-」(仮題)
講師	佐々木 正美氏 (児童精神科医、川崎医療福祉大学教授、子育て協会顧問)
対象	一般
定員	200名
場所	聖隷クリストファー大学、または大学附属クリストファーこども園

地域と歩む

保健福祉実践開発研究センターは、2009年10月に開設されました。今号でも紹介させていただいている専門職に向けた公開セミナー、広く市民を対象にした市民公開講座は、本センターの事業の一端です。また本センターのキーワードを「地域と歩む」としています。この浜松において、静岡県において、一緒に歩んでいきたい、課題を共に解決していきたいという願いが込められています。

地域の専門職の方々と「地域貢献研究事業費」を活用してのさまざまな研究・実践もユニークな活動です。また専門職の方々の相談、学校や地域の講座の講師派遣依頼への対応など、まさに地域と本学教員をつなぐ窓口にもなっています。大学の役割は、教育研究だけではなく、多くの卒業生が活躍しているこの地域は、在學生にとっては実習先であり、就職先です。本センターがこの地域の保健医療福祉の専門職者の拠り所となっていくことが、この大学で学びたいという在學生にとっても大きな力になることを確信しています。

保健福祉実践開発研究センター長
社会福祉学部 社会福祉学科長・教授
山本 誠



看護学部(基礎看護学)

水野 美香 助教 みずの みか



1 愛知県立看護大学看護学部、名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻博士前期課程
2 愛知県立看護大学
3 基礎看護学

自分を大切にしながら、相手も大切に。そういう人になれるように、大学での学び、生活の中の人との関わりを大切にしたいと思っています。

助産学専攻科

徳留 静代 助教 とくどめ しずよ



1 聖隷クリストファー大学大学院看護学研究科修士課程
2 本学助産学専攻科(～2010年3月まで)
3 助産学

これから看護職、助産師を目指す学生さんの志を大切に、共に学んでいきたいと思っています!よろしくお願ひいたします。

社会福祉学部 臨床介護福祉学科

奈倉 道隆 教授 なぐら みちたか



1 京都大学医学部医学科
2 四天王寺大学大学院人文社会学部
3 老年医学・介護福祉学

専任教員となって50年。7つの大学に勤めましたが、このようないきいきとした大学は初めてです。

社会福祉学部 子ども教育福祉学科

石川 瞭子 教授 いしかわ りょうこ




1 武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科、日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科修士課程
2 創造学園大学ソーシャルワーク学部、大妻女子大学人間関係学部(非常勤)、放送大学群馬学習センター(非常勤)
3 児童家庭福祉・臨床心理学・児童精神保健

時代は多様性・共生がキーワード。混沌とした時代を生きていくために感性を磨くこと。自身を鍛え信じるに足る自分に経験を与えること。

社会福祉学部 子ども教育福祉学科

細田 直哉 助教 ほそだ なおや



1 東京大学文学部哲学科、東京大学大学院教育学研究科修士課程
2 信州豊南短期大学幼児教育学科
3 教育人間学・生心理学

大切なのは、耳を澄ますこと。学ぶことも、人を支えることも、そこからはじまるのだと思います。

看護学部(母性看護学)

室加 千佳 助教 むろか ちか



1 聖隷クリストファー大学看護学部、聖隷クリストファー大学看護短期大学専攻科助産学特別専攻、北里大学大学院看護学研究科修士課程
2 聖隷浜松病院総合周産期、母子医療センター産科部門
3 母性看護学(NICU看護・産科看護)

本学の卒業生です!皆さんと一緒に看護を語り合えることを楽しみにしています!よろしくお願ひします。

看護学部(老年看護学)

鳥居 千恵 助教 とりい ちえ



1 浜松医科大学大学院医学系研究科老年看護学専攻修士課程
2 本学看護学部准教員
3 老年看護学

既に出逢い、今後出逢う人々の声に耳を傾け豊かな学びを積み重ねてください。私も、少しでもその役に立てたいと思います。

社会福祉学部 社会福祉学科

横尾 恵美子 教授 よこお えみこ



1 国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科保健医療福祉学専攻博士課程
2 別府大学文学部人間関係学科
3 高齢者福祉・対人援助技術・介護福祉

対人援助職に求められる社会的使命や、その仕事の奥深さ、楽しさを伝えたいと願っています。

社会福祉学部 子ども教育福祉学科

太田 雅子 教授 おおた まさこ



1 玉川大学文学部教育学科、カリフォルニア州立大学修士課程、金沢大学大学院社会環境科学研究科修士後期課程単位取得後退学
2 北陸学院大学人間総合学部
3 幼児教育学・保育学・キリスト教保育

使命=命を使う。これからの自分の人生をどのように使うべきか、大学での学びや生活の中でそれを見出すことができたら幸せだと思ひます。

社会福祉学部 社会福祉学科

落合 克能 助教 おちあい かつたか



1 聖隷クリストファー大学大学院社会福祉学研究科修士課程
2 高齢者福祉(生活環境)

はじめて大学教員となりました。学生の皆さんとともに学び、考え、気づき、成長することができればと考えています。

リハビリテーション学部 作業療法学科

田島 明子 准教授 たじま あきこ



1 東洋大学大学院社会学研究科福祉社会システム専攻修士課程
2 吉備国際大学大学院保健福祉学専攻修士課程
3 作業療法学・障害学・社会学

最近読んだ本に「創造的な気付きこそが人生が生きるに値するものであると人に感じさせる」とありました。常に新しい意味に開かれた自分であることが幸福なのだと思います。

新任教員12名紹介

- 出身校
- 前任校・前勤務先
- 専門分野

学生へのメッセージ



リハビリテーション学部 理学療法学科

矢倉 千昭 准教授 やぐら ちあき



1 長崎大学医療技術短期大学部、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科修士課程
2 国際医療福祉大学福岡リハビリテーション学部
3 理学療法予防学(健康増進・介護予防)

「人の世に三智がある。学んで得る智、人と交わって得る智、みずからの体験によって得る智がそれである。(鳥崎藤村)」一緒に頑張りましょう!

役職者	昇任	※職位順
看護学部 学部長 藤本 栄子 教授 学部長補佐 山下 香枝子 教授	看護学部 酒井 昌子 教授 村松 美恵 助教	
社会福祉学部 学部長 佐々木 敏明 教授 社会福祉学部長 山本 誠 教授 臨床介護福祉学科長 中村 裕子 教授 子ども教育福祉学科長 太田 雅子 教授	リハビリテーション学部 大町 かおり 教授 西田 裕介 教授 前野 竜太郎 准教授	
リハビリテーション学部 学部長 小川 恵子 教授 理学療法学科長 大城 昌平 教授 作業療法学科長 新宮 尚人 教授 言語聴覚学科長 藤原 百合 教授	社会福祉学部 村田 明子 助教 今井 淳 助教 野方 円 助教	

看護学部 飯田 澄美子 教授 緒方 久美子 准教授 鈴木 みちえ 准教授 徳永 基与子 助教 相羽 訓子 助手(2010年9月末退職)	
社会福祉学部 志村 健一 教授* 根本 久仁子 准教授 春名 苗 教授 高木 邦子 准教授* 小川 恭子 准教授 福岡 隆康 助教	
リハビリテーション学部 長谷川 賢一 教授* 重森 健太 助教 辻 郁 准教授(2011年1月末退職)	※2011年度非常勤講師

能動的に学び、疑問を追及する力を育む教育をめざして

看護学部 教授 藤井 徹也



◆学歴: 藤田保健衛生大学大学院医学研究科博士課程修了/博士(医学)
◆所属学会: 日本看護技術学会、日本看護研究学会、日本看護科学学会、日本看護学教育学会、日本解剖学会、日本環境感染学会 他
◆専門分野: 基礎看護学

私は名古屋保健衛生大学(現在の藤田保健衛生大学)入学以来、多くの先生方より教育および研究のご指導を賜りました。大学卒業後、臨床経験を経て大学院を修了し、教員となりました。大学院では、神経科学で著名な永津郁子先生の講座で組織学を中心とした解剖学を学びました。

現在の私の専門は、基礎看護学分野です。主に基礎看護技術、フィジカルアセスメントを担当し、必要な専門基礎知識(看護学の基礎となる解剖学、生理学などの科目)を結び付けながら知識・技術の修得ができる教育実践を心がけています。このことは、自分が学生時代に使用していた「看護技術」のテキストへの疑問から始まりました。そこに書かれていた内容が、解剖学や生理学などで学習した内容と一致しておらず、「何故だろうか?」と学生ながらに疑問を抱きました。結果、看護技術を教授する者は、専門基礎知識を十分に学ぶ必要があるとの考えに至りました。それ以降、研究テーマは一貫して看護技術の根拠・法則性の追求に焦点を当て、その成果を教育に活かしています。

このような自分の経験から、学生は常に能動的に学び、その学びの中で感じた疑問を追及する力を身に付けることが必要であると考えていますし、そうあって欲しいと願っています。赴任して1年経ちましたが、本学看護学部には、そのように学習できる能力をもった学生の存在を感じています。看護学部には多くの先輩がいて、幅の広いよい繋がりを持つことができている。さらに、本学にはリハビリテーション学部、社会福祉学部があることから、学部の枠を超えた繋がりが持つこともできます。他職種連携を育む教育も重視され、チーム医療の重要性が示されている今日、優秀な医療職が育ち得る環境が整っていると感じています。この学習環境を活かして、学生たちが幅広い視野を持ち、次に進むべき進路を明確にできる専門職に育つよう教育に取り組みたいと思います。



注射前の準備における注意点をレクチャー。「基礎看護技術演習II(2年次生)」の授業にて。

私の教育・研究

連載 第36回

最善を尽くすということ

リハビリテーション学部 教授 原田 浩美



◆学歴: 金沢大学大学院医学系研究科保健学専攻修士後期課程修了/博士(保健学)
◆所属学会: 日本言語聴覚学会、日本音声言語医学会、日本高次脳機能障害学会、日本神経心理学学会、日本聴覚医学会、日本小児耳鼻咽喉科学会 他
◆専門分野: 言語聴覚学
◆研究テーマ: 語彙・文法の獲得とその障害

私は長く病院などの臨床の現場で仕事をしながら、大学院や医局の研究員として研究を続けてきました。私のこれまでの研究は、すべて臨床で感じた疑問を解決するためのものでした。「どうしてだろう?」と思い、より良い答えを求め調べていくと、疑問を解決できる答えはまだわかっていない。「誰もやらないなら、自分でやるしかないか?」その根底にあるものは、「私が目の前の患者様にさせていただいている言語治療は、その方にとって果たして最高のものであろうか」という疑問でした。これまでに出版されている論文や書籍に書いてあることを参考に言語治療を行っても、改善は期待できないと思います。しかしながら、より良い治療を行えばもっとも改善されるはずなのです。自分が行っていることは完全ではないことを認識し、不十分であるところを探しだし、それを受け入れる。そして、より良いものに近づけるように努力をする。私はこれまで、常に自分に厳しくあるように意識してきました。(意識しないと、ズルズル自分に甘くなってしまう危険があるからです。)

学生には、授業で習うことや教科書に書いてあることは限られたものであるから、これから



2010年秋、グループ演習の様子。「高次脳機能障害学II(3年次生)」の授業にて。

先に出会う患者様に言語治療をさせていただく時には、教えられたことだけで十分なことができると思わず、常に自分で考え、しかしその考えに満足せず、その患者様にとって最善のものを求め続ける姿勢を伝えたいと思っています。また、大学では学生中心に教えられ、与えられ、守られています。卒業後はプロとして、患者様中心の考え方で、責任を持つて最善のものを提供し、守る側になるのだということを知らなければなりません。

聖隷学園 だより

県西部初、幼保連携型・認定こども園

2011年4月開設

聖隷クリストファー大学附属 クリストファーこども園

こども園の概要

2006年に施行された「就学前の子どものための教育・保育等の総合的な提供の推進に関する法律」に基づいてスタートした認定こども園という新しい制度・タイプの園です。幼稚園と保育所が一体となった施設であり、静岡県には現在9つあります。園の目標として以下の6つを掲げて保育を行っています。

- ① 神様と周りの人に愛されていることが分かります。
- ② 様々な人々との関わりを通して、思いやりの気持ちを育み共に生きる喜びを知ります。
- ③ 自然の中で思いやり遊び、感性やたくましい心と体を育みます。
- ④ 食に関わる体験を積み、いのちがつながりあい、支えられていることに感謝します。
- ⑤ 自ら様々なことに取り組み、考えたり表現する力を身につける。
- ⑥ 生活に必要なことが分かり、自分から身に付けようとする。



5月、4～5歳児が流川の田んぼで泥遊びや田植えの体験をしました。カエルと遊んでいる様子です。

総園長からのメッセージ



クリストファーこども園 総園長
聖隷クリストファー大学
社会福祉学部
こども教育福祉学科長・教授
太田 雅子

大学附属のことを英語でラボ・スクール (Laboratory School) と言います。クリストファーこども園は、聖隷クリストファー大学の研究・実習のための園でもあり、「大学やその他の専門機関との連携により学問的根拠に裏づけられた質の高い保育・幼児教育を実践すること」を特色のひとつとして掲げています。発達や健康の問題、家庭の生活スタイルの違いなど、様々な背景を持つ子どもたちですが、どの子どももあわせぬ乳幼児期を過ごし、健やかに成長していくためには、保健医療福祉の専門家である大学教員との協力・

支援体制づくりが重要であり、すでにその具体的な計画が進んでいます。また現場と大学が協力して研究を行い、実践・評価・改善を重ねることで、こども園の保育の質の向上を図り、研究成果を発信することもしていきたいと思っております。そのことは、乳幼児期の子どもへの健全な育ちについての提言、より良い環境を創造していくことに繋がると思います。

秋からは3学部の実習生の受け入れを開始します。すでにボランティアとして、社会福祉学部の学生や聖隷クリストファー高等学校の生徒が来ています。授業としても使われています。学生たちが実際に子どもたちと関わるといふ体験を通して、専門職を目指す者としての必要な知識・技術・態度の獲得に向けて意味ある学びの時となることを願っています。子どもたちと接していると、懸命に伸びゆくというエネルギーを感じ取ることが出来ます。嬉しくなってきました。子どもたちを対象として捉えるのではなく、共に在る、共鳴しながら生きる仲間であるという理解して、クリストファーこども園を訪れて頂きたいと思っております。

聖隷クリストファー中・高等学校

生徒は“行事に本気”で育つもの

中学校 教頭 茨城 久一郎

4月7日、3期生となる33名が入学し全学年そろい、中学校の生徒は90名となりました。今年度からの中学生徒会の立ち上げは期待と不安が半々でした。生徒会長をはじめ執行部、専門委員長、副委員長が生徒会顧問とともに3月から活動を開始し、4月からは毎週火曜日放課後、相次ぐ行事の準備を喧々囂々の雰囲気の中で進めてきました。

まずは4月8日の中学対面式。体育館で2・3年生がもつ竹のアーチで1年生を迎え、縦割のグループでのゲーム。初めての生徒会主催の行事とあって、生徒全員が戸惑いながらも協力の雰囲気の中で進められました。

5月2日は交流遠足。徒歩で都田総合公園へ。公園内で学年対抗のリレーや縦割グ

ープごとのゲームなど好天気に恵まれ楽しい一日でした。いつの間にか生徒会から生徒への指示が的確になっていました。

1学期最大の行事は中高合同の聖隷祭です。1年生はオープニングでちびまる子ちゃん・マルモ・嵐の踊り、2年生はワンピースの巨大ピクセル壁画、3年生は迷路でした。2・3年生のご家族のご支援に心から感謝します。生徒たちは協力しながら時には意見がぶつかるシーンもありましたが、本気だからこそ微笑ましく思いました。クラス展では入賞かなわず涙を浮かべる生徒もいました。後日全校集会のクラス代表の振り返りでは「やればできる」「真の思いやりを感じた」などの言葉がありました。生徒は行事を通して、失敗を恐れずに着実に育っています。

学習面では、ぐんぐんゼミによる授業の補いにも生

徒・教師が一体となって日々努めています。これからも応援・ご協力をお願い申し上げます。



中学2年生の巨大ピクセル壁画

8回実施する面接指導です。タイムリーな面接指導をきめ細やかに行うことにより進路目標に着実に向かう体勢を確かなものにしよとするものです。

これらにより建学の精神に基づき、たくましい実践力を持ち意欲的に社会貢献を行っていく豊かな人間性を備えた人材を育てていきます。

男子バレーボール部 今年も全国高校総体出場! 5年連続9回目

6月4日、焼津市総合体育館にて行われた高校総体静岡県大会決勝戦で静岡市立清水商業高校に勝利し、7月28日から秋田県で開催される全国高校総体へ静岡県代表として出場します。男子バレーボール部の全国高校総体出場は5年連続9回目。県内大会7連覇となりました。ご声援よろしく申し上げます。

躍動する学園

高等学校 教頭 寺田 博義

本校では、生徒諸君により日々誠実に明るく楽しくさわやかな学校生活が多様に繰り広げられています。去る6月11日に行われた聖隷祭は、多くの方々の御支援をいただく中で、「カラー」をテーマに1,300余名の来客を迎え、ダンス部・少林寺拳法部や吹奏楽部の活気に満ちた発表を皮切りに、クラス展や模擬店などが展開されました。諸々の活動は、創造性や活力に富みテーマどおりに多彩であり、

参加者にとって満足度の高いものでした。

さて、英数科に加え昨年度から普通科が特進・進学一類・二類という3類型に再編され、今まで以上に授業と家庭学習の充実により学力の増進を図るための環境を整えています。授業とリンクして行われる朝学、文章表現力を養成する小論ライティングや英語イメージングなどを始め渋谷教育学園との連携によるさまざまな教育システムなどの研究は、着実な成果を収めつつあります。

また、学び舎の姿も年々変貌を遂げ、昨秋にはソフトボール場と隣接する新しい農場が完成し周囲にはアップダウンに富んだクロスカントリーコースを備え、より豊かな自然環境の中で活動できるようになりました。広大な農場の一角には、新設したクリストファーこども園の園児の手によるサツマイモが植えられ、秋の収穫期には校内は園児達の明るい歓声で包まれることと思います。

今年度の取り組みの変化で最大のものは、年間



聖隷祭・ダンス部の発表

英会話・テニススクール

聖隷学園では、地域の皆様を対象として、英会話およびテニススクールを開講しています。どちらもベテランの講師、コーチが受講される方のレベルに合わせてきめ細かい指導を行っており、大変好評をいただいているスクールです。年度途中からの受講も可能ですので、ぜひこの機会に始めてみませんか?講座はいつでも大学内で行っています。

英会話は初級、準中級、中級、上級の4つのコースを用意。初級と準中級は日本人講師と外国人講師が半分ずつ担当し、丁寧で分かりやすい授業を展開。中級と上級はすべて外国人講師が担当し、実践的なコミュニケーションを中心に構成されています。テニススクールも初級、中級、上級とレベルにあわせてレッスンを受講できます。月・水・金曜日に開講していますので、都合の良い曜日をお選びいただけます。

- 英会話 夜の部 | 19:00~20:30 |
- Aクラス(初級)水曜日
 - Bクラス(準中級)火曜日
 - Cクラス(中級)火曜日
 - Dクラス(上級)水曜日
- 受講料(年額) **43,200円**(36回・テキスト別途)
※B、Cクラスは昼の部(13:30~15:00)もあります。
- テニススクール 夜の部 | 19:00~20:30 |
- 開催日 初級~上級 月・水・金曜日
- 受講料(年額) **33,000円**/週1回(保険料別途)
※月・水曜日は昼の部(13:00~14:30)もあります。

開講日および受講料等の詳細につきましては、HPをご覧ください。企画部(TEL:436-5311)までお気軽にお問い合わせください。
聖隷学園 ホームページ <http://www.seirei.ac.jp/gakuen/>

クリストファーこども園 開設記念式典

6月11日(土)、県内の幼稚園・保育園関係者、官公庁や金融機関の方々など多数ご出席を頂き、礼拝、記念講演、祝賀会を行いました。記念講演は白梅学園大学学長・東京大学名誉教授である汐見稔幸先生による大変興味深い内容であり、乳幼児期の養育・保育の質がその後の人生を左右するということを再確認しました。園児たち一人ひとりを丁寧に

見つめ、個々の心情に共鳴しながら、思慮深い関わりをしていかなければと改めて考えさせられました。



園舎にて開設記念式典の様子。

花の日礼拝

6月15日(水)は花の日礼拝を行いました。3~5歳児はホールで合同礼拝を行い大学の宗教主任・鈴木崇巨先生に奨励をして頂きました。0歳~2歳も一緒に集まってお話を聞きました。その後、聖隷クリストファー大学・中・高等学校、近隣の高齢者施設や地域のお世話になっている人々を訪問し、それぞれが持ち寄った花を届けました。

Kodomo-en こども園 HOT NEWS



聖隷学園長谷川了理事長、堀口路加専務理事にお花を届けました。

CAMPUS SCHEDULE

2011年度キャンパススケジュール(予定)

4月	
4日(月)	入学式
5日(火)	新入生オリエンテーション・ 新入生セミナー・在学生ガイダンス(7日まで)
6日(水)	防災訓練・薬物使用防止講習会・交通安全講習会
8日(金)	春semester授業開始
9日(土)	大学院オリエンテーション・ガイダンス
5月	
2日(月)	創立記念日振替休日
7月	
9日(土)	社会福祉学部 保護者懇談会
18日(月)	授業日(海の日)
28日(木)	春semester授業終了
29日(金)	春semester定期試験(8月4日まで)
8月	
29日(月)	春semester追・再試験(31日まで)
9月	
21日(水)	春semester卒業式・修了式
26日(月)	秋semester授業開始 ※秋semesterガイダンスは必要事項のみ時間割の中で行います。
10月	
10日(月)	授業日(体育の日)
15日(土)	リハビリテーション学部 保護者懇談会
29日(土)	看護学部 保護者懇談会
11月	
4日(金)	1~3限は授業、以後聖灯祭準備
5日(土)	聖灯祭・ホームカミングデー
12月	
21日(水)	クリスマス礼拝
26日(月)	冬期休業(1月5日まで)
1月	
27日(金)	秋semester授業終了
30日(月)	秋semester定期試験(1月30日~2月1日・ 2月6日~2月8日)
2月	
27日(月)	秋semester追・再試験(29日まで)
3月	
13日(火)	卒業式・修了式、卒業パーティ



学報へのご意見・ご感想をお寄せ下さい。
読者の皆様のご意見を参考に、
より充実した内容をお届けできればと
考えております。ご協力お願い申し上げます。

学報アンケート

<http://blg.seirei.ac.jp/d/>

お知らせ

「新禁煙宣言」

5月10日付で新しい禁煙宣言をし、本学の禁煙運動は、「学生及び教職員等の喫煙習慣ゼロ運動」へと展開することになりました。ご家族や周囲の皆さまのご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

2003年5月に健康増進法が施行され、大学など多数の者が利用する施設では「受動喫煙を防止するために必要な措置を講ずるよう努めなければならない」と定められました。本学ではこれを受けて、人々の命と健康をあずかる保健医療福祉の専門職者を育成する大学として、2007年4月に「禁煙宣言」をし、教職員・学生のキャンパス内及び大学周辺区域での全面禁煙を達成するための教育、支援活動、啓発活動等を行ってきました。

これらの活動が一定の成果を上げた今、新たな禁煙宣言をして禁煙の徹底、喫煙習慣ゼロ運動に取り組みます。

2011年5月10日 学長 小島 操子

- 学生は本学に入学するにあたり喫煙しないことを誓約し、その誓約を守れなかった場合は退学を含む処分の対象となることを了承しています。
- 学生は入学時の誓約を守って学生生活を送り、卒業後も喫煙習慣のない保健医療福祉の専門職者として活躍します。
- 大学は教職員・学生全員から喫煙習慣をなくすための啓発及び支援活動を継続します。

著書紹介



『聞いて覚える医学英語
キクタン・メディカル 5. 看護とケア編』

株式会社アルク 2011年3月 ひらの みつこ
執筆:リハビリテーション学部 教授 平野 美津子



近年、日本の医療界には「国際化」の波が押し寄せており、多くの外国人患者さんが病院に来ます。また、さらに、フィリピンやインドネシア出身の看護師、介護士も受け入れていて、医療通訳に頼らずに外国人の患者さんや医療スタッフに病状や検査、処置、ケアを説明するためにも英語の知識が必要になっています。

もちろん、そんな「国際化の波」が来る前から病院では、英語の医療語のカタカナ読みや、略語が飛び交っています。「3号室の山田さんは、2時にウロです。」(urology:泌尿器科のカタカナ読み)「患者さんVF起こしています。」(ventricular fibrillation:心室細動の略語)「患者さんタキッテいます。」

(tachycardia:頻脈のカタカナ読み)など、杖挙にいとまがありません。外国人患者さんやスタッフに通じる英語がすぐ目の前なのに、正しい発音ができていないのは残念ですね。

本書はそんな医学・看護英単語を、音声を繰り返し聴くことで習得することをめざした「キクタン・メディカル」シリーズの5番目の本です。看護師、助産師、保健師の仕事や視点に関連した、各種ケア、処置、症状、病名、検査などの医学・看護英語640語を取り上げています。



聖隷クリストファー大学後援会

2010年度決算・2011年度予算について

2011年4月4日(月)に2011年度後援会総会が開催され、下記のとおり2010年度決算及び2011年度予算が承認されました。

2011年度は特に、保護者の方々から要望の多いキャンパス内外の防犯灯の設置等、学内外の安全確保対策を重点的に進めるため、この予算を増額しました。

(単位:円)

収入の部	科目	項目	2010年度決算	2011年度予算
	入会金・会費	入会金	3,527,500	3,492,500
	会費	27,570,000	27,760,000	
利息	預金利息	9,384	20,000	
前年度繰越金		5,970,759	3,597,491	
収入の部合計		37,077,643	34,869,991	
支出の部	科目	項目	2010年度決算	2011年度予算
	教育活動 振興援助費	新入生セミナー援助	817,939	889,000
	実習交通費宿泊費等の補助(看護学部)	1,399,908	1,500,000	
	実習宿泊費補助(リハビリテーション学部)	1,400,000	1,400,000	
	学外学会等参加費補助(助産学専攻科)	49,980	50,000	
	国家試験対策講座等に係る費用の補助	2,234,515	2,600,000	
福利厚生費	学生相談室の運営に係る費用の補助	5,500,938	5,500,000	
	健康診断に係る費用の補助	4,517,909	4,630,000	
	健康管理センターの充実補助	143,705	300,000	
	学生の自主活動に係る費用の補助	1,705,000	1,800,000	
	学生食堂運営費、売店運営費の補助	3,678,073	4,150,000	
	防犯・交通安全の啓発に係る費用の補助	173,710	170,000	
	卒業記念品贈呈、及び卒業パーティ開催費	2,849,436	3,049,900	
	学生用コピー機、印刷機費用の補助	2,294,752	1,500,000	
会員情報提供費	大学報印刷費、発送費	1,109,970	1,500,000	
	保護者懇談会の開催	702,786	700,000	
施設設備費	学生福利厚生設備の充実費用	494,970	1,000,000	
	学生駐車場防犯カメラリース料、大学周辺の防犯灯維持費	82,768	86,000	
総務費	慶弔費	45,000	50,000	
	保護者満足度調査経費(郵送費)	176,255	160,000	
	会費納付書等印刷費、郵送費	51,738	60,000	
	役員会(年3~4回)	50,800	80,000	
同窓会・後援会奨学金原資への繰り入れ		4,000,000	0	
予備費		0	3,695,091	
次年度繰越金		3,597,491	0	
支出の部合計		37,077,643	34,869,991	

2011年度聖隷クリストファー大学 後援会役員

- 会長 加藤 義一
副会長 川住 康子
加藤 進
立石 恒雄(大学学生部長)
理事 高野 宏昭 増田 等
藤森 幸一 渡邊 勇吉
袴田 和代 鈴木 由美子
大庭 佐知子 李屋 昌子
榊原 理砂
幹事 鈴木 聡(大学総務部次長)
高木 広幸
(大学学生サービスセンター長)
会計監査 瀧美 博之 藪谷 淳

後援会より お知らせ

防犯灯を増設しました

2010年度後援会事業(学生福利厚生設備の充実援助)として、大学2号館西側に2基、第1駐車場スロープ付近に2基の防犯灯を増設しました。また既設の防犯灯についても見直しを行い、一部の防犯灯の照明方向を変更しました。今後も在学生、保護者の皆様のご意見を参考に、施設設備の充実と学生生活の安全性の向上を検討してまいります。

学生数

2011年7月1日現在 / 総数 1,516名 男 373名 女 1,143名 ()内は男子内数

看護学部 看護学科 在学者数	リハビリテーション学部 在学者数	看護学研究科
1年次生 152(16)	理学療法学科 [リハビリテーション学科理学療法専攻]	博士前期課程 [修士課程]
2年次生 161(19)	1年次生 35(19)	1年次生 6(0)
3年次生 155(15)	2年次生 35(21)	2年次生 9(0)
4年次生 164(19)	3年次生 30(16)	博士後期課程
計632(69)	4年次生 39(24)	1年次生 10(1)
助産学専攻科 在学者数	作業療法学科 [リハビリテーション学科作業療法専攻]	社会福祉学研究科
17(0)	1年次生 36(14)	博士前期課程 [修士課程]
計 17(0)	2年次生 41(15)	1年次生 3(0)
	3年次生 26(5)	2年次生 1(1)
	4年次生 47(15)	博士後期課程
	計383(148)	1年次生 4(1)
社会福祉学部 在学者数	言語聴覚学科 [リハビリテーション学科言語聴覚専攻]	リハビリテーション科学研究科
社会福祉学科 [社会福祉学科社会福祉専攻]	1年次生 22(6)	博士前期課程 [修士課程]
1年次生 42(13)	2年次生 23(5)	1年次生 11(10)
2年次生 22(12)	3年次生 20(3)	2年次生 12(88)
3年次生 45(19)	4年次生 29(5)	博士後期課程
4年次生 50(21)	計386(119)	1年次生 8(7)
臨床介護福祉学科 [社会福祉学科介護福祉専攻]	子ども教育福祉学科	博士後期課程保健科学研究科
1年次生 23(10)	1年次生 41(6)	2年次生 14(3)
2年次生 16(3)	2年次生 41(11)	3年次生 20(6)
3年次生 14(0)	3年次生 31(5)	計 34(9)
4年次生 29(14)	4年次生 32(5)	